

食の安全・安心シンポジウムを開催しました === みんなで考えよう『食の安全・安心』 ===

平成30年11月9日(金曜日)に大町市の大町市文化会館におきまして、「遺伝子組換え食品の現状と表示について考える～安全性と消費者への伝え方～」と題しまして消費者、食品事業者、行政が一同に会してシンポジウムを開催しました。

【基調講演】

演 題：「遺伝子組換え食品の現状と表示について考える～安全性と消費者への伝え方～」

講 師：(一社) FOOD COMMUNICATION COMPASS

代表 森田 満樹 氏

- ◆ 遺伝子組換え食品による品種改良や作物の例、世界の栽培状況
- ◆ 遺伝子組換え食品の規制に関する経過、安全性審査の方法
- ◆ 遺伝子組換え食品の表示は、安全性ではなく選択の表示であるが、様々な意見もある。
- ◆ 遺伝子組換え食品の表示制度と実際の表示例。
- ◆ 今後の遺伝子組換え食品の表示制度の方向性
- ◆ 消費者の役割として、食の安全確保に関し知識と理解を深めるために危険情報を自分で調べて見極める、一過性で終わらない関心を持つなどが必要

【パネルディスカッション】

パネリスト：

消費者代表：長野県生活協同組合連合会理事

徳嵩 淳子 氏

事業者代表：(株)アサヒコ 生産本部安曇野大町工場

猪上 佳徳 氏

学識経験者：(一社)長野県食品衛生協会松本食品衛生検査所

中沢 春幸 氏

助言者(講師)：森田 満樹 氏

コーディネーター：長野県大町保健福祉事務所長

小松 仁 氏

